

昭和三十九年三月三日 第三種郵便物認可
令和四年四月十五日発行 第六十巻 第五号(毎月十五日発行)

情報を先取り、タブーに挑戦

財界オッポス

【特集】ウクライナ戦争「ショック」、全13ページ

北海道の貿易額、近くて遠い国 進出企業、姉妹都市… **ロシアとの関係を徹底分析**

2022年
5月号

◎「サハリン1・2」日本の権益は継続も、地震が功奏の北電と、おまけ、の北ガス◎民間企業進出の架け橋として30年、北海道銀行ロシアビジネスの夢散 ほか

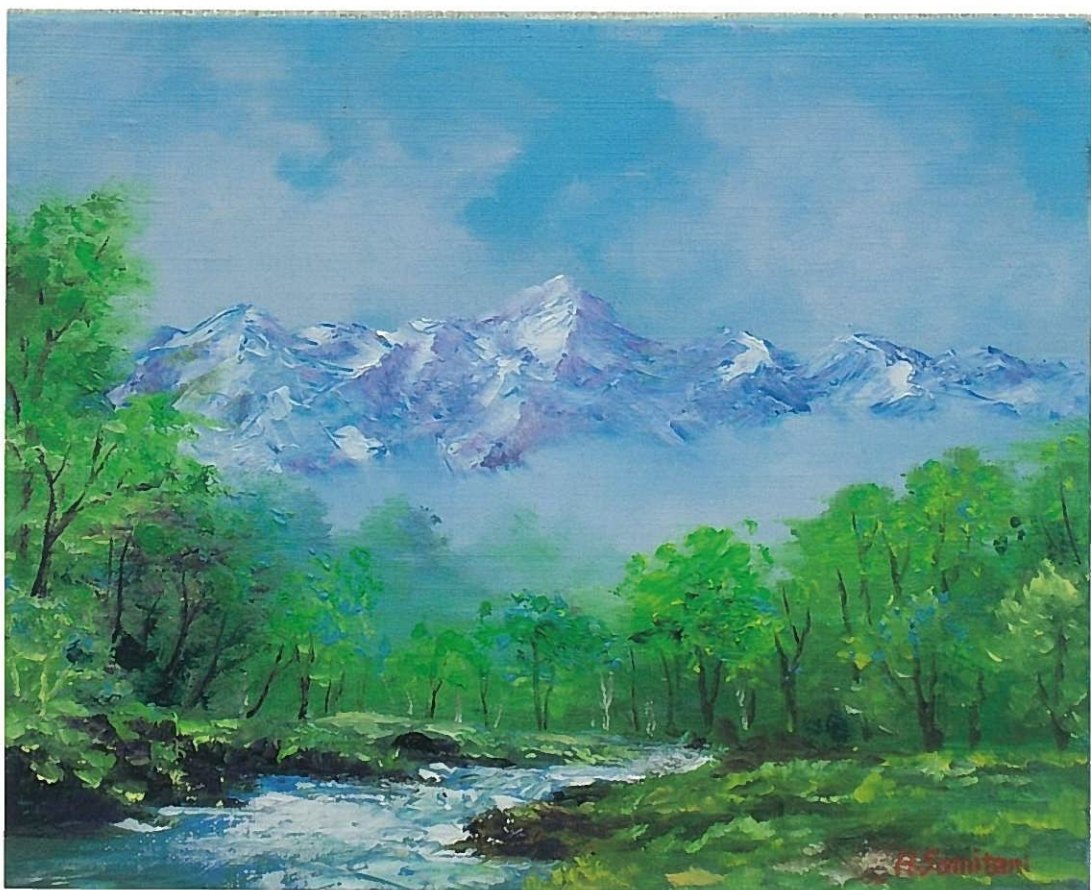
「石川香織の手柄にさせたくない、
帯広・広尾自動車道事業化に横やりを入れた11区・中川郁子

衆院議員

函館の老舗 39歳・若山豪五島軒社長が洋食店回帰で反転攻勢
43年の歴史に幕 激白!北欧パン社長(齊藤豪)が「過去との清算」を決意
賛否両論巻き起こる… 検証!北海道百年記念塔はなぜ解体されるのか
なぜこんなに差がついたのか? 成功オーナー、失敗オーナーの賃貸経営

**花畑牧場・由中義剛に
勝つた闘士**

札幌地域労組・副委員長の
向こう傷半生



マサル不動産

札幌市北区北34条西3丁目 マサルビル1階
☎011-717-5550 <https://www.masaru34.com/>

業界のイメージを払拭する 『追わない、スタイルが好評』

「対応が悪く、空室を放置する」など、粗悪な管理会社にあたったことで、以降、自主管理にこだわりのけるオーナー様が一定数います」と話すのは、賃貸管理を主事業とするマサル不動産の菊地勝裕社長。

顧客の半数以上が「不動産会社は信用ならない」と警戒心を抱いていたが、同社に巡り合ったことで「不動産業界のイメージが大きく変わった」と口をそろえるところ。

菊地社長は「当社は強引な営業は一切しません。

『入居率を上げる』『入居者への誠実な対応で退去率を上げない』。この当たり前のことを実践するだけ。結果は後からついてきます」と話す。

数多く手がける中古収益物件の売買仲介においても顧客目線のスタイルを貫く。

「表面利回りは高くても、例えば浴室とトイレが一緒であったり、新築時の家賃のまま十数年入居しているケースもあります。ひとたび空室になれば、広告料がかさんだり、家賃を大幅に下げないと申し込みが入らないケースもある。目利きが重要」と菊地社長。

また、新築企画も得意とする同社には、相続を視野に入れた建て替えの相談も多く寄せられている。



自主管理から同社管理に切り替えたアパート(上)。新築マンションも企画